

製品名: EMAP II ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10432**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	AIMP1
別名	AIMP1; EMAP2; SCYE1; Aminoacyl tRNA synthase complex-interacting multifunctional protein 1; Multisynthase complex auxiliary component p43
遺伝子 ID	9255.0
SwissProt ID	Q12904
免疫原	抗血清は、ヒト AIMP1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

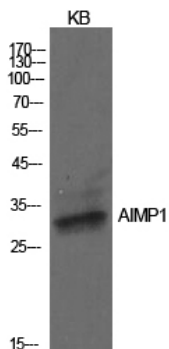
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アポトーシスによって特異的に誘導されるサイトカインであり、血管新生、炎症、および創傷治癒の制御に関与しています。このサイトカインの放出により、腫瘍関連血管系は腫瘍壊死因子に対する感受性を高めます。前駆体タンパク質は、マルチ tRNA 合成酵素複合体に関連する p43 サブユニットと同一であり、正常細胞における tRNA 合成酵素のアミノアシル化活性を調節します。このタンパク質は、腫瘍細胞におけるタンパク質分解後の炎症反応の刺激にも関与しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。20 番染色体上に偽遺伝子が同定されました。[RefSeq 提供、2008 年 12 月]、血管新生、血管の発達、内皮細胞増殖の調節、内皮細胞増殖の負の調節、血管の発達、単糖代謝過程、グルコース代謝過程、tRNA 代謝過程、翻訳、タンパク質翻訳のための tRNA アミノアシル化、アポトーシス、細胞運動、走化性、防御反応、炎症反応、細胞接着、細胞間シグナル伝達、行動、運動行動、細胞死、細胞増殖の負の調節、創傷への反応、プログラム細胞死、死、細胞遊走、ヘキソース代謝過程、生物学的接着、ncRNA 代謝過程、細胞増殖の調節、走化性、アミノ酸活性化、tRNA アミノアシル化、血管形態形成、細胞運動性、白血球遊走、細胞の局在

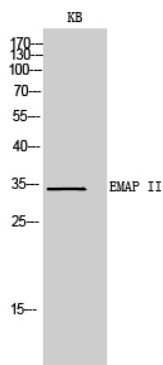
研究分野

細胞生物学

画像データ



EMAP II ポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



EMAP II ポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。